

6月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡等。中～下旬より出荷量が増加し、上位等級の発生が多い。 主な品種は精の一世で、岩の白扇は少な目。
	黄・赤菊	主な産地は静岡。全体的に少な目で、主な品種は精の光彩。下旬より出荷量増加の見込み。
小菊		主な産地は静岡、福島、茨城等。 全体的に不安定な入荷となる見込み。色バランスの崩れも見込まれる。
SP・ディスバッド		・SPマム：周年産地中心で、徐々に品種が夏系に切り替わってくる。出荷量は昨年より少ない。 ・ディスバッドマム：愛知、静岡、栃木中心で、特段大きな増減は無い。
バラ		各産地潤沢な出荷が見込まれる。雨季に入るため、品質低下に注意しながらの集荷を努める。
カーネーション		産地切り替え時期の為、暖地は上旬より徐々に減少。その後長野、北海道等からの出荷がスタートする。
かすみ草		暖地ものは中旬以降に数量が少なくなる。
リシアンサス		中旬以降は出荷がまとまり、高冷地の出荷が始まる。
ユリ	オリエンタル	埼玉、千葉中心。新潟の平場の出荷が本格的になり、数量は例年並みでやや多めとなる。 白：色は6：4で、カサブランカはやや少な目、八重系がやや増えてくる。
	スカシ・鉄砲	スカシLAユリは埼玉と、新潟の平場が始まってくる。テッポウユリは長野から新鉄砲ユリの出荷が始まってくる。 数量はどちらも例年並みとなる。
洋ラン類		・オンシジューム：国産、輸入共に数量が増えてくる。 ・カトレア：出荷横ばい。 ・シンビジューム：国産は出荷終了。輸入の出荷は未定。 ・ファレノ：輸入中心で、徐々に数量が横ばいになる。 ・デンファレ：国産は不定期な出荷が続く。輸入品も徐々に数量が減る。
季節もの		・グラジオラス：茨城産が順調な出荷。中旬から微増傾向。 ・国産ハイドランジア(アキバナーセリー)：潤沢出荷あり。初夏の枝物も産地拡大の影響もあり、品目・品種・出荷増。